

○ 立正大学付属  
R 立正中学校・高等学校 馬込キャンパス建設計画

---

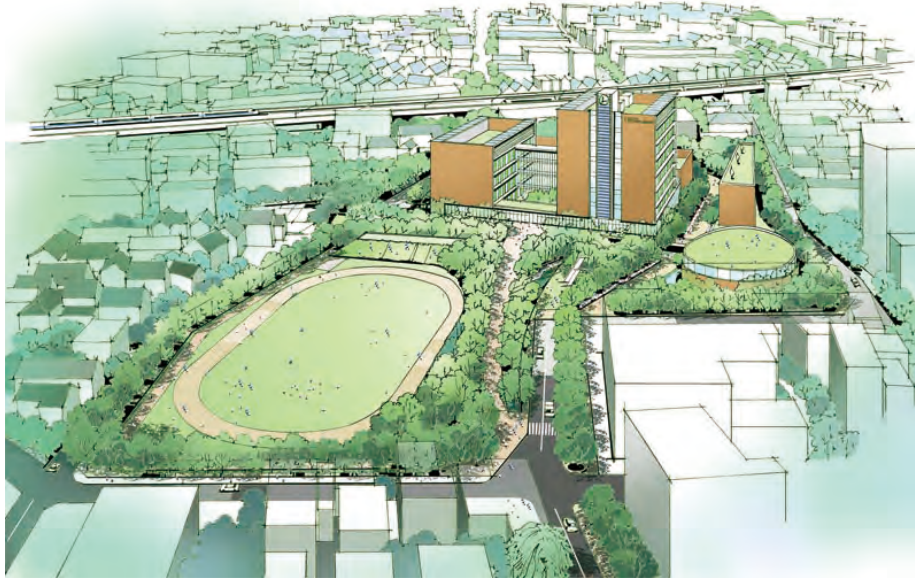
基本構想書

平成 21 年 9 月  
株式会社 佐藤総合計画

page

【1】 計画コンセプト	01
【2】 計画地の概要	02 ~ 03
【3】 施設計画	04
【4】 E C O計画	05
【5】 地域連携について	06
【6】 今後のスケジュール	07
【7】 打ち合わせの経過報告	08

### 事業コンセプト(案)



○豊かな教育環境「杜の学び舎」のイメージ  
(※今後の計画により変わることがあります。)

立正大学附属立正中学校・高等学校は、大崎の地で創立100年を超える歴史を持っています。高い水準の教育を常にめざし、共学化、コース制の導入、新校舎棟の建設など様々な学校改革に取り組んできましたが、現在の校地は都心のため狭隘化してきています。そこで、さらなる教育環境の整備を目指して、大崎キャンパスから馬込への移転が決定されました。本事業では、以下の5つの理念に基づき、生徒一人ひとりが主役になる学びの舞台(「杜の学び舎」)を創造します。

1. 教育目標「行学二道」の実践
2. 豊かな学びの場(学び舎)の実現
3. 地域との連携
4. 健全財政の下での、中高一貫教育の運営と高大連携の推進
5. 「Eco社会」「Eco時代」に相応しいキャンパス造り

上記事業コンセプトに基づき、馬込キャンパスのコンセプトとして以下を掲げます。

### 馬込キャンパスのコンセプト

#### 「安全安心」の学校をめざす

- 安全性、防犯性を高めた施設づくり
- わかりやすく・使いやすい施設づくり
- ユニバーサルデザインの施設づくり

#### 「対話と交流」を育む学校をめざす

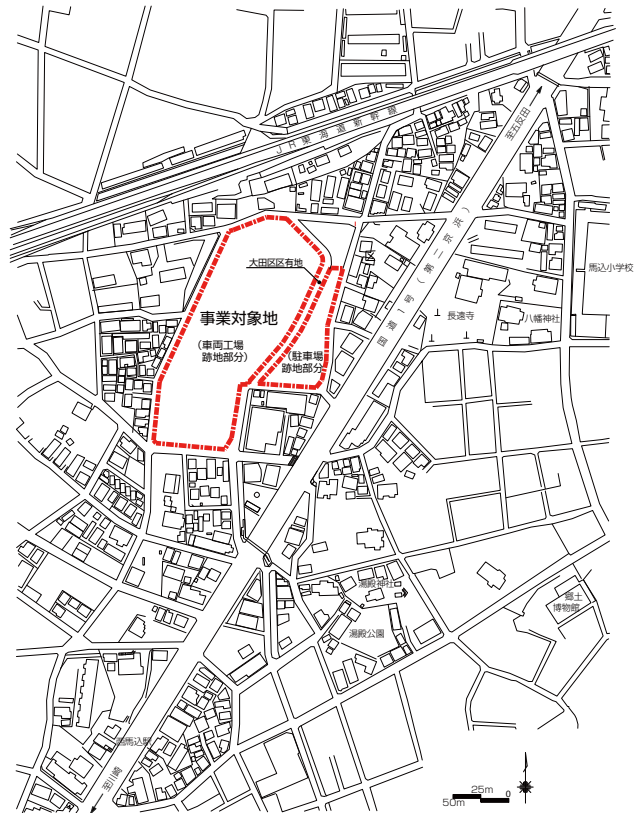
- 多様なコミュニケーションの場づくり
- 多様な活動を可能にするフレキシブルな空間づくり
- 地域との交流も大切にする学校づくり

#### 「自然を感じる」学校をめざす

- 豊かな緑に包まれた学びの場づくり
- 自然の力を取り入れた施設づくり
- 環境に負担をかけない施設づくり

※基本設計を進めるにあたって、内容を見直す可能性があります。

## 【2】 計画地の概要



○敷地案内図



事業対象地	東京都大田区西馬込一丁目27番1、22及び34番21
敷地面積	(車輛工場跡地部分) 譲渡部分 8,039.72㎡ (約2,436坪) 貸付部分 8,981.91㎡ (約2,722坪) (駐車場跡地部分) 譲渡部分 2,938.16㎡ (約890坪) 計 19,959.79㎡ (約6,048坪)
用途地域	準工業地域 (特別工業地区)
建蔽率	60%
容積率	200%
高度地区	第二種高度地区
日影規制	2.5h-4h、測定面4m

### 近接したキャンパス

大崎キャンパスからは電車で8分ととても近く、大学と一体となった中高一貫校の運営が可能な距離となります。またこの西馬込は都内各地からもアクセスがよく、生徒たちが通学しやすい環境にあります。

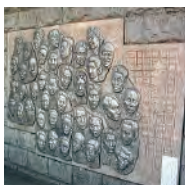


### 文化の香る周辺地域



#### 本門寺 ほんもんじ

本門寺は、日蓮が生涯最後の20数日間を過ごし死去した、武蔵国千束郷（東京都大田区池上）の地に建てられた寺院であり、日蓮宗の大本山である。



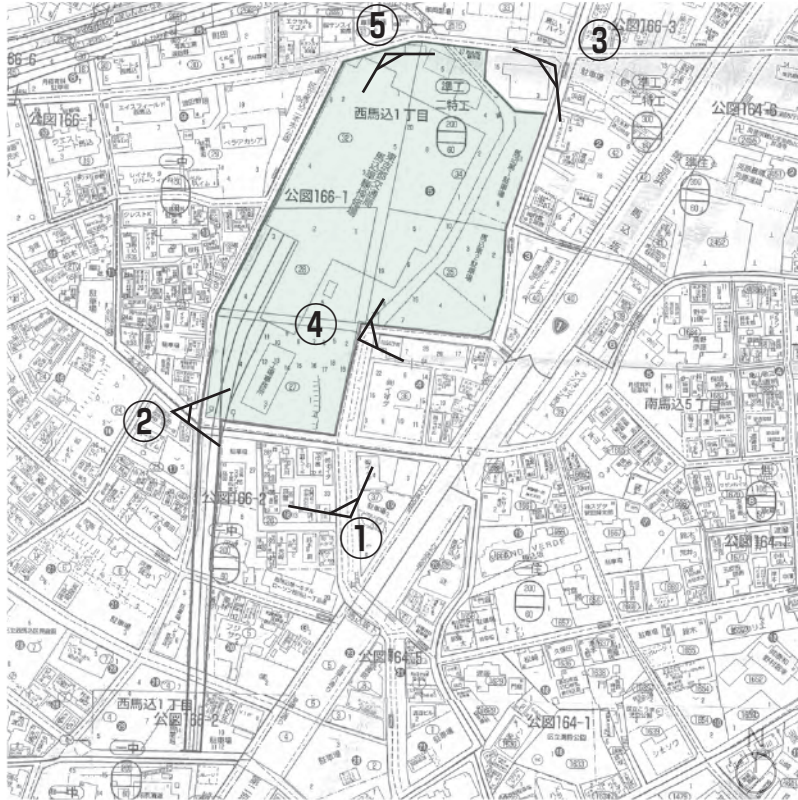
#### 馬込文士村 まごめぶんしむら

大正末期から昭和初期、東京の馬込から山王にかけての一带（現在：大田区南馬込、中央、山王）に多くの文士、芸術家が住み、交流を交わしていた。いつしかこの辺りを「馬込文士村」と呼ぶようになり現在に至る。

※基本設計を進めるにあたって、内容を見直す可能性があります。

## 【2】計画地の概要

### 現況写真



①敷地南南東側交差点



②敷地南西側交差点



③敷地北東側交差点



④敷地南南東角地

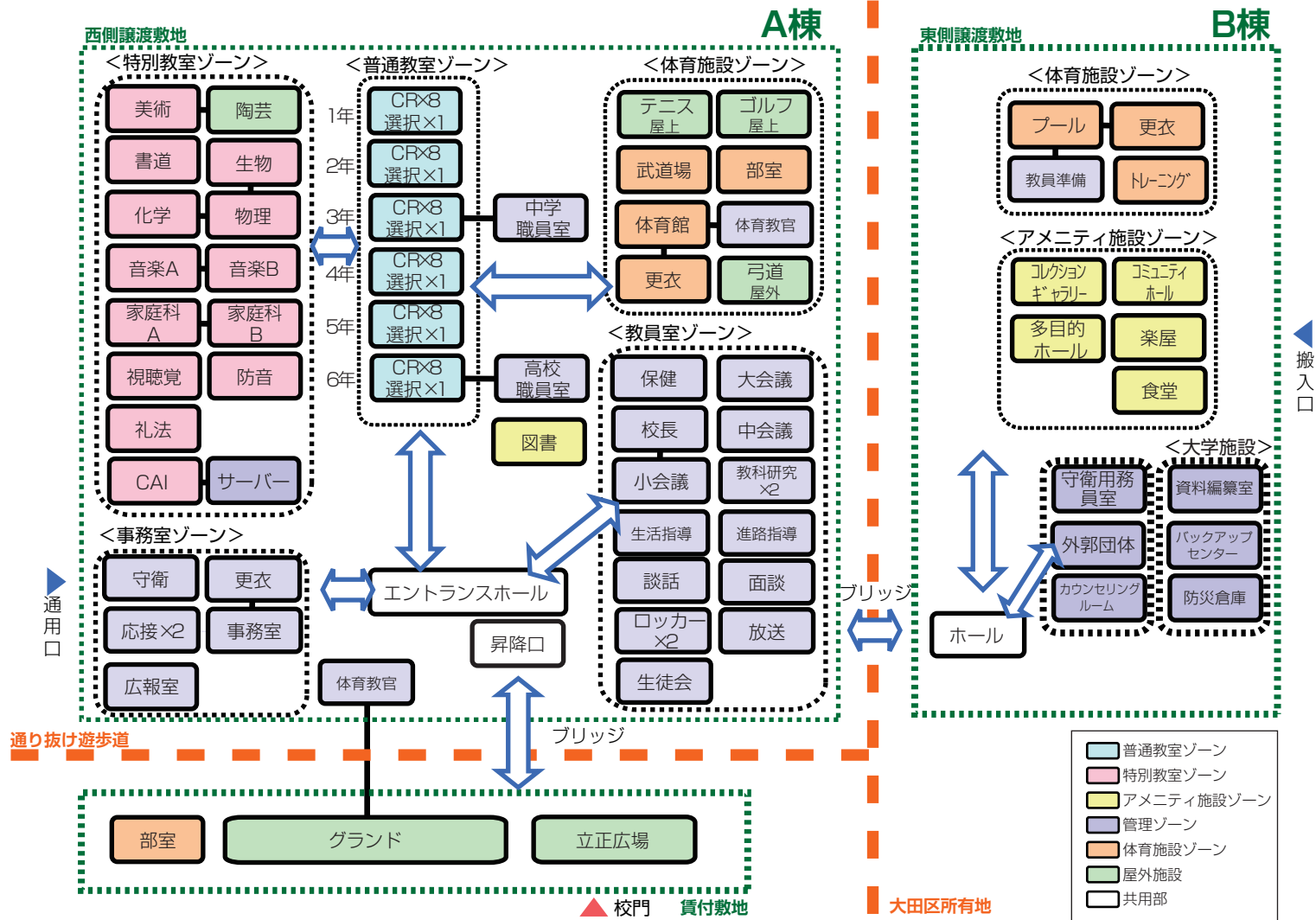


⑤敷地北側敷地内

# 【3】 施設計画

## 施設構成ダイアグラム

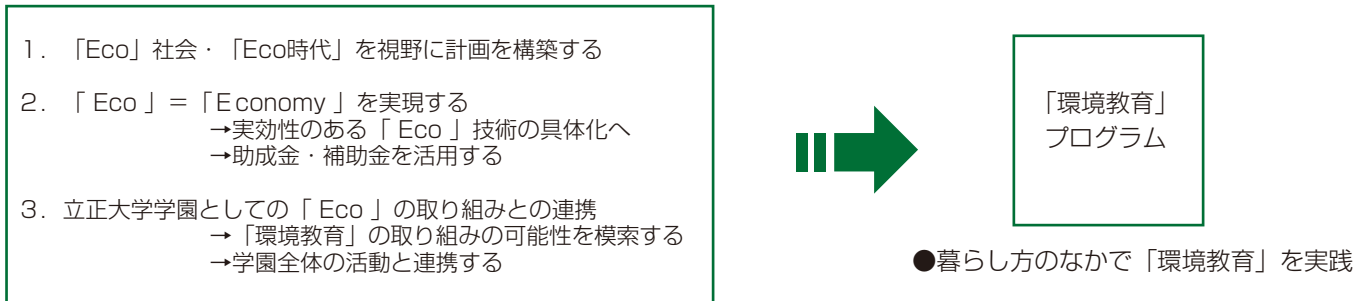
前頁の各室の配置条件により、各ゾーン及び各室のつながりをダイアグラムとして以下に示します。



※基本設計を進めるにあたって、内容を見直す可能性があります。

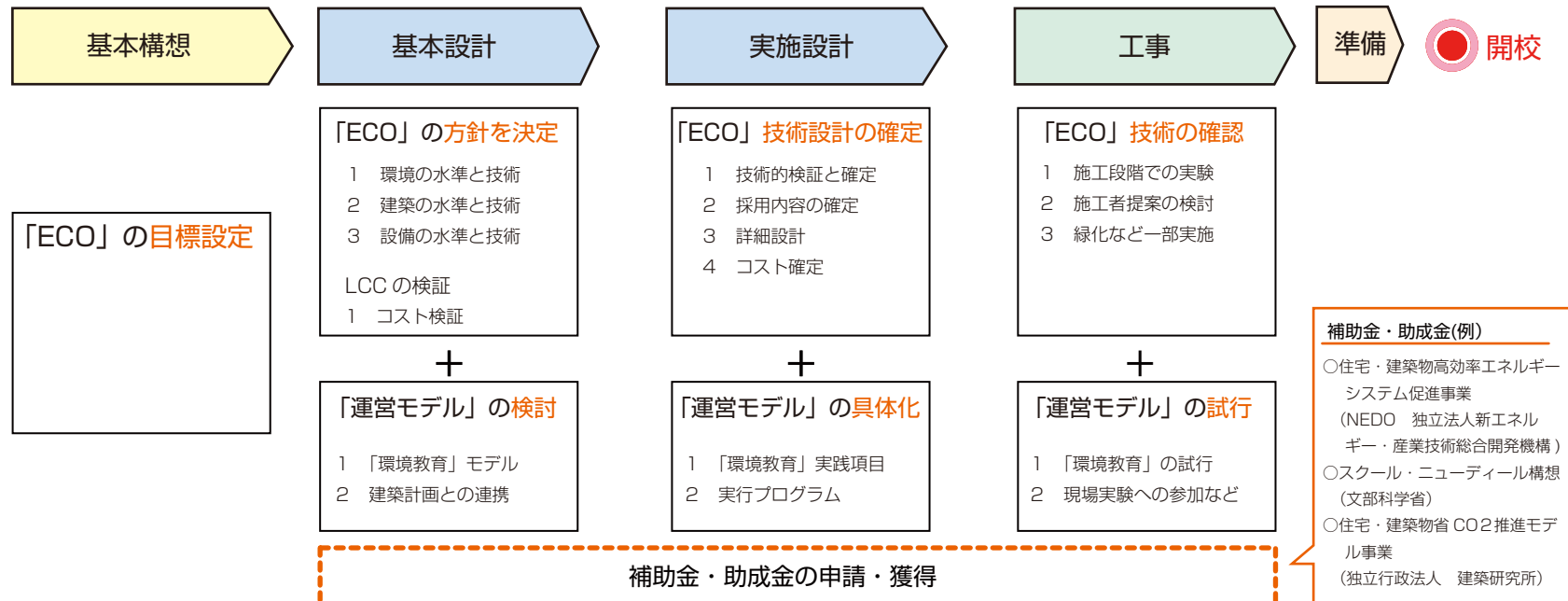
## ECOコンセプト

急速な温暖化の影響を受け、地球規模の環境問題に対応するため、環境負荷の低減や自然との共生に配慮した施設計画が求められています。本計画では、実効性のあるECO技術を採用することにより、LCC（ライフサイクルコスト）の削減を実現するキャンパスを目指します。また未来を担う子ども達が、環境問題を身近に感じ、日々の暮らしのなかで「環境教育」が行われる施設とします。



## ECOスケジュール（案）

4年後の開校にあわせて、時代の変化・技術の革新を捉えながら、基本構想段階から設計・工事期間まで、以下のステップで計画を進めていきます。



※基本設計を進めるにあたって、内容を見直す可能性があります。

## 基本方針

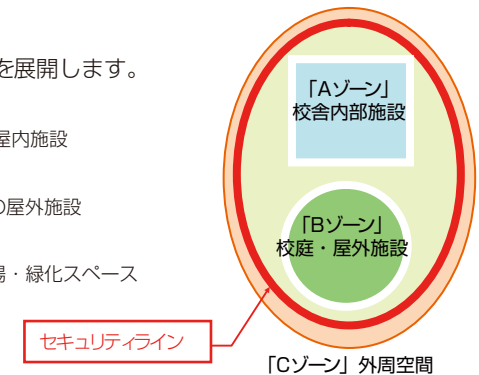
以下の3つの目標を掲げ、立正中高が馬込の新天地で新たな学校教育を創造するための地域との共生のあり方を今後の設計段階において検討します。

1. 地域との共存をめざす
2. 「地域の誇り」となり、地域が支える学校をめざす
3. 地域の学生募集にも貢献する

## 地域連携への対応方針

3つのゾーンで対応方法を設定し、今後の協議を展開します。

- A** ゾーン:セキュリティライン内校舎など屋内施設
- B** ゾーン:セキュリティライン内校庭などの屋外施設
- C** ゾーン:セキュリティライン外歩道・広場・緑化スペース



## 具体化にむけての「3つのステップ」

### Step-1 事業提案書

課題1 多様な世代が集う拠点・コミュニティづくりに関する提案

		*地域のニーズ学校の状況（学校の授業・行事など）の調整により	
1. 開放	運動スペース	グラウンド	
		温水プール	
		体育館	
		武道場	
		テニスコート	
	文化スペース	ゴルフ練習場	
		弓道場	
		トレーニングルーム	
		多目的ホール	
		特別教室	
2. 提供	コレクションギャラリー		
	コミュニティホール		
	ふれあい広場		
3. 演出	ミニパーク		
	森の小径	敷地中央部の東西道路	
	水辺の遊歩道		
	地域防犯の照明計画		
	森の回廊		

課題2 地域と調和した景観の形成に関する提案

1. 隣接住宅配慮		
2. 親しまれるシンボルの創出	桜の参道	
3. 演出	大時計	
	季節感のある樹木選定	
	夜の風景を創る	
	新幹線からの風景	

課題3 防災に配慮した拠点の形成に関する提案

1. 提供	1次避難場所の提供	グラウンド
	2次避難場所の提供	校舎
	防災備蓄倉庫	
2. 性能	防火水栓	
	2級の耐震レベル	
3. 設備	井水利用	
	ソーラ温水設備	
	ソーラ発電設備	

課題4 その他

1. 地域と共に育む	立正大学学園の理念の実践	
2. 地域と連携する学校	産学官連携の推進の提案	
	馬込文化歴史教室の提案	
3. 地域に根ざした学校	馬込国際交流センターの提案	
	ドンゴリの森プロジェクトの実施	
	アート仮開いプロジェクトの実施	
	工事の見える化	
	ビオトーププロジェクトの実施	

### Step-2 「設計・建設段階」の課題

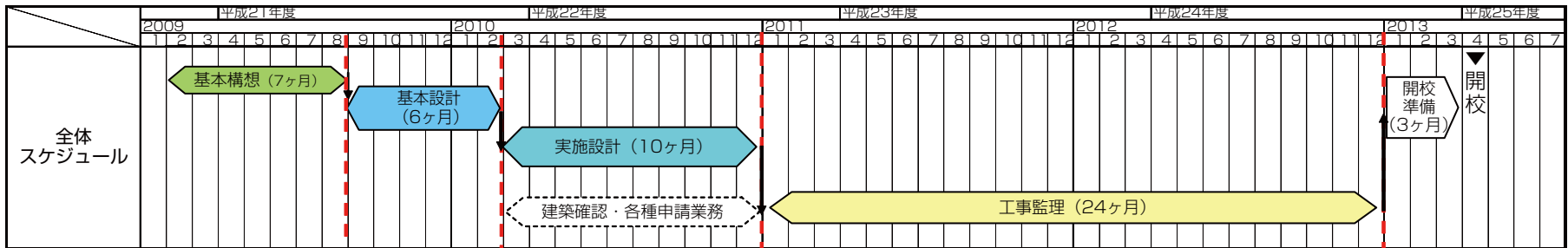
1. 地域との協議が必要な事項
  - ①敷地の維持管理
    - (1) 着工までの敷地の維持管理
    - (2) 工事期間は施工者の管理下へ
    - (3) 開校後の維持管理について
  - ②スクールバスの導入
    - (1) 住宅地への乗り入れ自体・ルートなど
  - ③通学路の安全対策
    - (1) 敷地内、敷地まで
    - (2) 地下鉄の安全対策
2. 施設計画について
  - ①近隣へ影響を与える部分の課題
    - (1) グラウンドに係わる課題
      - ・校庭騒音（歓声・放送音）
      - ・運動に係わる音《例》野球の音）
      - ・校庭の防球対策
      - ・校庭の夜間照明
      - ・校庭の塵埃（校庭の仕上げ）
    - (2) 近接地のプライバシー
  - ②建設法規によるものは順法で解決
    - (1) 日影・電波障害等
3. 工事について（……施工者の対応）
  - ①工事騒音・振動・塵埃
  - ②工事車両
  - ③工事関係者

### Step-3 「開校後」の課題

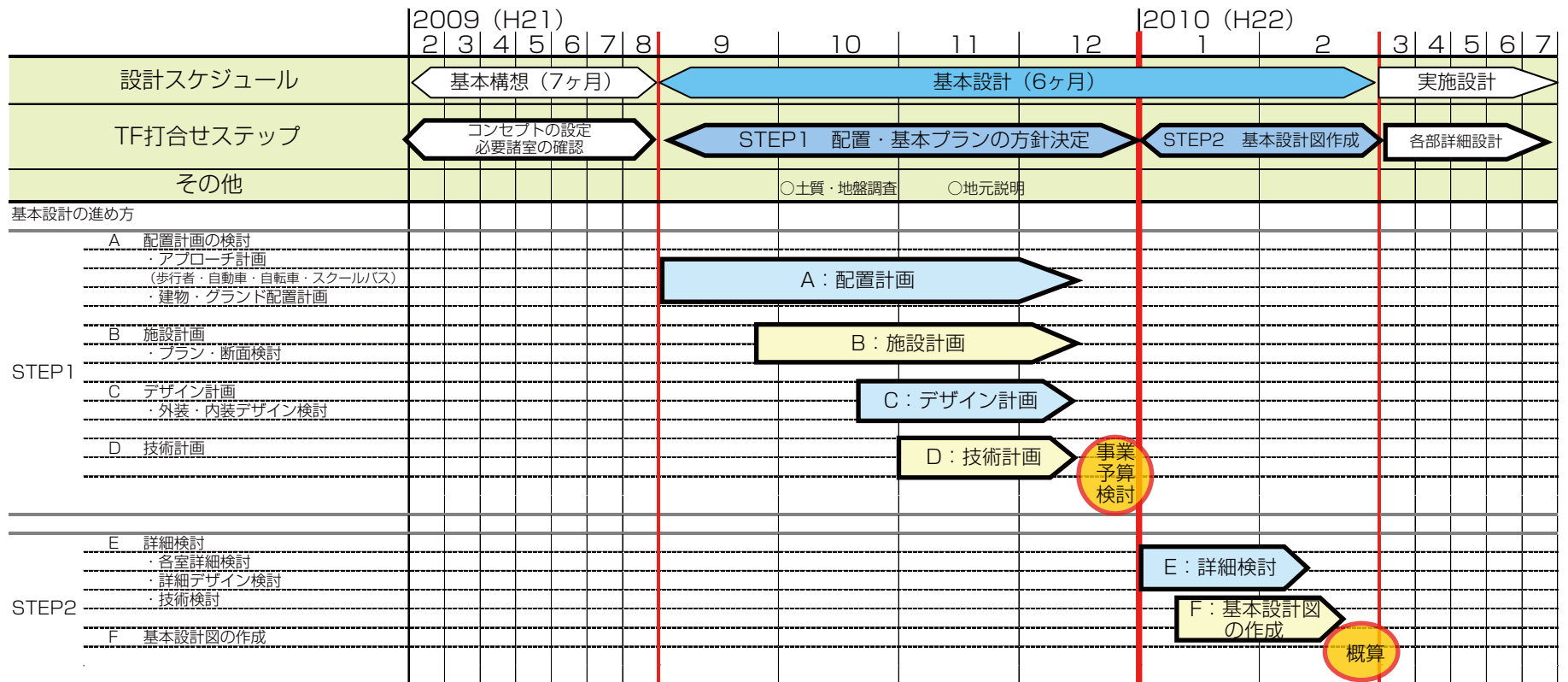
- 開校後の地域連携の有り方の検討
- たとえば
  - (1) 「学校の安全」は地域が守る
  - (2) 「地域に愛される学校をめざす
  - (3) 学校内を積極的に開放する
  - (4) 一部地域が使えるスペースを用意する
- ※今後の協議により、上記の地域との関係づくりを検討します。

# [6] 今後のスケジュール

## 事業スケジュール (案)



## 基本設計の進め方とスケジュール (案)



※基本設計を進めるにあたって、内容を見直す可能性があります。

## 【7】 打ち合わせの経過報告

2009年2月～8月末まで13回にわたり打ち合わせを行い、基本構想書としてまとめました。

TF(タスクフォース)構成メンバー：立正大学・立正中高・佐藤総合計画

TF	打ち合わせ日程	テーマ
TF01	2/12	・事業スケジュールについて ・学校建築計画のプロセスと基本構想の進め方
TF02	2/23	・中学高校よりの要望について ・基本構想の作業予定について
TF03	3/09	・中学高校教職員へのアンケートについて ・3/17 中学高校説明会に向けて
TF04	3/31	・基本構想について
TF05	4/20	・アンケート集計について(中間報告) ・基本コンセプト査定について
TF06	4/27	・基本構想要求事項チェックシートについて ・地域連携について
TF07	5/11	・アンケート調査結果について ・看板設置案と基本コンセプトについて
TF08	5/29	・基本構想要求事項チェックシートについて ・看板設置案について ・基本構想案について
TF09	6/12	・基本構想案について ①要求事項について ②提案時の室構成(ダイアグラム)について ③法規制について(面積・高さ・土地利用条件)
TF10	6/29	・基本構想案について ①前回 TF を踏まえた面積表と室構成ダイアグラムについて ②普通教室、昇降口の広さについて
TF11	7/13	・基本構想案について ①体育施設について ②スクールバスについて ③環境提案について
TF12	7/27	・基本構想案について ①特別教室について ②「基本構想書」まとめについて
TF13	8/21	・「基本構想書」まとめ